

平成25年度
担い手対応情報

Tとことん、A会って、
Cコミュニケーション!!
ii!! TAC®

TAC®

通信

平成25年 8月 9日

No.21

J A福井県経済連 担い手対策課
Tel 0776-91-0187

米集荷運動開始！ J A若狭



県経済連職員㊦と宮田組合長（㊦から3人目） J A若狭TAC担当者㊦

J A若狭と経済連は7月3、4日の両日、今年産米の集荷戦略として大規模農家を回り、J Aグループへ米の出荷協力を求めました。J Aグループでは2013年産米からタンパク値による区分集荷を実地することにしており、J A若狭のTAC担当者と県経済連の職員は、担い手へ訪問し理解を求めました。

J A若狭の宮田幸一組合長ら役職員・TAC担当者及び県連職員は『福井米はJ Aへ』とデザインした帽子をかぶり、管内4市町の計28生産組織を巡回し、生産者に県J Aグループとしての今年産の集荷方

針などを説明しました。日ごろから担い手に出向いて顔なじみとなっているTAC担当者と訪れたこともあり、生産者も説明を真剣に聞き入っていました。宮田組合長は、「生産者の声を直接聞くことができ、一定の成果があった。今後も活動を継続していきたい。」と話されました。J A若狭の今年米集荷目標は加工用、備蓄用を合わせて11万俵（6600トン）としています。

この運動は、県内各J Aにて始まっており、TACと経済連職員が同行して農家へ出向き米集荷活動をおこなっています。運動は、米集荷前だけでなく収穫後も推進予定となっています。今後、各J Aでの取り組み状況をお知らせしていきます。

福井米はJ Aへ
皆様のお米、しっかり守ります！
J Aは生産者の皆様の大切なお米を、安全・安定・安心の体制で守ります。



福井米のレベルアップと有利販売のため、タンパク値による区分集荷を実施します。タンパク値 6.7%以下のお米には、一俵あたり 300 円加算します。

第2回 TAC研修会開催！

TAC研修会 訪問活動を充実！

J A福井県経済連は6月14日、福井市でTAC（地域営農の担い手に向くJ A担当者）研修会を開きました。J Aから30名出席。

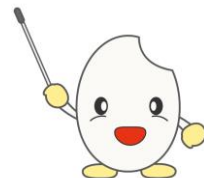
今回は、米集荷運動に対応した内容が主要テーマ。「J Aグループの集荷数量向上には、担い手農家への訪問による活動が重要だ。」と意識を統一しました。

この研修会は、TACが担い手を訪問する際に必要される知識の習得を目的に、経済連生産資材部担い手対策課が担当して開いています。研修では、米穀課の担当者より米情報の報告と、現場で農家から想定される質問などについての対応を学びました。



他に、県内で多くみられる難防除雑草対策、また県内一草刈りデーの安全作業に向けた刈り払い機の安全使用についての研修など、農家の悩みや安全啓発に沿った内容で行いました。

刈払機は正しく使いましょう！



農作業の安全対策研修として、農業機械課の土井氏（6月末現在）に講師を依頼し、刈払機の安全と保守管理について研修しました。

刈払機による事故の発生はトタクタ、農用運搬車に次いで3番目！ということで、事故から学ぶ安全ポイント・始業点検・使用後のメンテナンス及び長期保存について話しがありました。燃料の混合の仕方や燃料の抜き方など、実演しながら講習会が行われ、基本事項の再確認として良い機会となりました。



今後もTAC研修会を開催していきますので、ご参加ください。また、【こんな研修をしてほしい！】というものがあれば、経済連 担い手対策課までお気軽にご連絡ください。皆さまの要望を取り入れながら研修会を開催していきたいと思っております。



福井米

関東で販促強化！！

定番化視野に攻勢



J A福井県経済連は今年度、首都圏で福井米の販路拡大を狙い販売促進活動を強化します。官民で取り組む『福井コシヒカリ復活プロジェクト』で、今年産から全J A出荷農家がエコファーマー栽培技術を導入。たんぱく値の基準に基づいた区分集荷・販売に乗り出しており、従来の関西を軸にしながら関東での知名度向上を狙っています。米の需要アップに欠かせない消費者にPRしようと、県と経済連では5日～7日、東京・銀座のアンテナショップで県産「コシヒカリ」をPRしました。



東京で良食味PR

福井米の生産現場では、高温障害を回避する5月半ばの適期田植や1.9ミリ網目の選別による大粒化など食味向上への取り組みを強化しており、平成24年産米にて日本穀物検定協会の食味ランキングで「コシヒカリ」「ハナエチゼン」がともに特Aを獲得し、福井米の食味の高さを周知することが出来ました。

一方販売面では、関西でスーパーなどの定番商品として取り扱われているのに対し、関東の場合、定番商品が少なく、百貨店やスーパー・米穀店などの棚を確保し、「コシヒカリ」「ハナエチゼン」「あきさかり」などの定番化を目指すとともに、今後、消費者に向けて試食販売などを通じ新たなファン層の開拓と消費喚起に取り組んでいきます。

ステーキ 素敵なカレー

7月26日発売開始！



7月の特産市で素敵（ステーキ）なカレーが販売されました。トマトは「越のルビー」の果汁を100%使用し、カレーの中にフルーティな味わいを加えました。肉は若狹牛のミンチとステーキ肉を使用して、若狹牛本来の旨味を封じ込め、ステーキ肉は約50gの一枚肉を使用し、ボリューム感たっぷりです。内容量は180gで、お子様から大人まで幅広く食べていただける味に仕上がっています。

また、ギフトセットとして、素敵なカレー3箱、こしひかり無菌パック3個、越のルビードレッシング1本、花らっきょ1袋のオール福井の特産品を詰め合わせたものも販売しています。

素敵なカレー 600円（税込）／箱

ギフトセット 3,000円（税込）／セット



J A福井市 担い手後継者研修会

J A福井市は、6月25日福井市内で担い手後継者研修会を開催しました。若手農家をはじめJ Aの営農指導員・T A C等40名が出席。

堀岡常務の挨拶の後、田川営農販売部長から平成25年度の営農販売事業の取組について説明がありました。水稻については、J A米は今年度からエコファーマーが完全実施化されること、食味計を活用した良食味米の安定生産に努める事、この中では、タンパク含量に基づく区分集荷が実施され、これに係る指導の徹底を図っていく旨説明がありました。事例報告では、大野市の「農事組合法人・グリーンコーポ麻生嶋の竹田代表と中村康紀氏より「ネギ栽培」について講演がありました。

交流会では、農業技術・農業経営について活発な意見が交わされていた。



J A敦賀美方 稲作中間検討会

7月18日（木）、J A敦賀美方三方五湖基幹支店において、稲作中間検討会が開催されました。検討会では『水稻の生育状況および今後の栽培管理について』県嶺南振興局 清水主任より、今年は出穂がコシヒカリ・あきさかりがともに生育が3日ほど早い事や間断通水の励行について話しがありました。

また、『土づくりの重要性』では経済連牧野課長より土づくりが如何に大切な、作物にとって良い土とはどんな土か、説明がありました。福井の田んぼは、ケイ酸が不足



していること、なぜケイ酸が必要なのかについて報告されました。

『水稻刈跡処理でクログワイ・オモダカの退治！』では三井化学アグロ株式会社足立氏より、クログワイ、オモダカの見分け方から雑草の特徴と比較、なぜ難防除なのか説明がありました。

出席した農家は熱心に耳を傾け、有意義な研修となりました。



JA若狭アグリネット

農業機械メンテナンス研修会



7月25日JA若狭農業活性化センターにて農業機械のメンテナンス研修会が開催され、担い手農家約20名の出席がありました。

全国で農作業中の事故として毎年約400件もの死亡事故が発生していることから、改めて農作業安全・農業機械の安全確保に関する知識、使用点検（必要なメンテナンス）について研修会が開催されました。

内容としては、『農作業安全のための指針』として、イセキ北陸の小寺氏が、実際におきた事故の具体例をあげながら、農

業機械の正しい使い方や誤った使い方からくる事故・故障について分かりやすく説明がありました。

その他にも『農作業事故の実態と安全対策』『農作業事故の傷害保険』などの研修がありました。

最後にトラクター・コンバインのメンテナンスについて学びました。雨の中での研修となりましたが、受講者は熱心に聞き入っていました。



JA花咲ふくい

水田農業経営協議会研修会

7月29日、JA花咲ふくいは坂井市内で、水田農業経営協議会研修会を開催しました。当日は農家、関係者含め100名以上が出席。

開会にあたり、富田組合長より「25年産米は価格が上がりにくい状況にあるが、系統内で力を合わせ消費者動向を踏まえたうえでしっかり対応していきたい。」と挨拶がありました。

次に深町販売推進課長より福井県産米の販売状況は4月末時点で全量契約終了し、10月末に販売が完了する予定。本年産米より、コシヒカリを対象にタンパク基準値が6.7%以下であれば内金において1俵300円加算される区分集荷が実施



されること、JA花咲ふくいとして332,000俵を集荷目標とすることなど説明されました。竹内営農指導課長より、今年度管内で実施された738点の水田土壌分析結果から、ケイ酸が基準の約半分しかないこと、リン酸も一部地域を除き不足している地域が多いことが説明されました。また近年、稲作期間での異常高温などによる米の品質低下が懸念され、安定した収量・品質を確保するためにも土壌状態を確認し、土づくりを実施するよう農家に呼びかけました。会場は担い手農家を中心に高品質米の生産に向けて意識統一された有意義な研修会であった。

土壌診断だよ

J A若狭では6月28日「担い手診断土壌」の結果報告及び対策についての訪問活動を行いました。

当日は、T A C担当者3名が経済連担い手対策課と連携し、5件の担い手を訪問し、結果に基づいて説明を行いました。農家からも多くの質問がありました。

特に、園芸農家の方々とは、分析項目の意味や、今後の肥料設計について突っ込んだやり取りがありました。

J A若狭では本年100点の土壌診断を予定しており、担い手農家の皆様との「信頼の構築」の一つの手段として位置づけ継続していく予定です。



青年の主張・活動実績発表大会



福井県農協青壮年部協議会



7月27日 JA 福井市において福井県農協青壮年部協議会による『青年の主張・活動実績発表大会』が開催されました。

この大会は、JA 青壮年部の盟友が地域における日頃の活動体験や営農生活面から、将来に向けた意見・要望・提言と、農業青壮年の組織活動の発表内容について審査。最優秀賞の受賞者は福井県代表として、11月に静岡で開催される東海北陸地区の発表大会に出場します。

今年の福井県代表は、青年の主張部門では JA 若狭小浜青壮年部宮川支部の小畑善敬さん、活動実績の部では JA 福井市青壮年部美山支部の松栄貞行さんが選ばれ、東海北陸地区発表大会の出場権を獲得しました。

福井県農林水産部水田農業経営課の向出課長を審査員長とする審査の時間に、今回初めてとなる系統肥料メーカーによるプレゼンテーションが開催され、エコファーマー肥料を中心とした肥料の説明が行われ、参加者は熱心に受講されていました。



施設住宅課・肥料農薬課 コラボ企画

担い手の皆様へ

期 間
平成25年
12月27日まで

格納庫 キャンペーン



- ・窓 2カ所
- ・出入口 1カ所
- ・土間コンクリート
- ・標準工事費 込み

特別価格



973,165円 おトク!!

3台用 間口9m×奥行6m
通常価格 ~~4,953,165円~~

(税込)

3,980,000円~

1,099,500円 おトク!!

4台用 間口12m×奥行6m
通常価格 ~~6,079,500円~~

(税込)

4,980,000円~

1,420,190円 おトク!!

5台用 間口15m×奥行6m
通常価格 ~~7,400,190円~~

(税込)

5,980,000円~

※建築条件により、工事費が変動します。 平成26年3月31日までに工事完成が対象となります。

系統肥料の直送契約すると...

上記特別価格から、さらに助成!

300万円以上の物件	助成額	300,000円
400万円以上の物件	助成額	400,000円
500万円以上の物件	助成額	500,000円

※但し、系統肥料及び農薬を限定した助成と位置づけ、5年間の継続購入を条件とします。(誓約書の提出あり)

詳しくは、施設住宅課および肥料農薬課にお問い合わせください。



ガス課

知床らうす 海洋深層水

新規契約者へプレゼント実施中！

エフィールウォーター
「知床らうす海洋深層水 純水ブレンド」
のおいしい使い方



プレゼント内容はチラシにて



自動車課

超お買い得「軽トラ」情報！



スズキ キャリイ

CARRY

FCシリーズ

KCシリーズ

組合員様渡し

90万円 税込み

登録済未使用車
登録諸費用も必須装備も
含めて、この価格！



石油課

第2弾

JA-SS

実施中

ラッキー富くじ

